

第3回 阪大本番レベル模試・英語（外国語学部以外）

採点基準

大問 I

(A) (20点)

区分		配点
①	in the Paris subway system (パリの地下鉄システムでは)	1
②	users insert a paper card the size of a movie ticket into a machine (利用者が映画のチケットほどの大きさの紙製のカードを読み取り機に挿入するが、)	4
③	that reads the card, leaves a record on the card in order to render it “used,” and then pushes it out from the top of the machine. (その機械はそのカードを読み取り、「使用済み」とするためにそれに記録を残し、機械の上部からそのカードを排出する。)	8
④	The cards have a magnetic strip on one side but are otherwise symmetric. (カードの片面には細長い磁気の部分があるが、その点を除けば(左右)対称である。)	7

(B) (20点)

区分		配点
①	My intentions in general are supposed to be good, (私の意図は全体としては良いものであるはずだ)	4
②	but sometimes telling a story succeeds in the right way and sometimes in the wrong way. (物語を語ることが正しい方向で成功するときもあれば、悪しき成果を招くこともある)	4
③	The only consolation I have is that ((私の唯一の慰めは…ということだ)	2
④	however badly conceived and badly written – and therefore ambiguous – a story may be, (ある物語がどれほど着想がまずく、文章が下手で、それゆえあいまいであったとしても、)	5
⑤	the harm will always be less than that caused by terrible political and economic mismanagement. (その害は、政治的、経済的なひどい不始末が招く害よりも常に小さいであろう)	5

大問II

設問(3) 20点

区分		配点
①	「書くこと」の「自由」(または「束縛の無さ」とつながる内容への言及	10
②	「他者(批評者)の目を気にすることがない」への言及	10

設問(4) 20点

区分		配点
①	in old age への言及	3
②	relive your life への言及	10
③	a journal への言及	7
<ul style="list-style-type: none">・「～状態」と結んでいないものは (-1)・上に記載のない誤りは1箇所につき1～2点を減点する。文構造など語句レベルを超えた誤読は1～4点を減点する。・配分を超えた減点はしない。		

大問Ⅲ

採点の基準
<p><u>内容</u></p> <p>(1) 特定の人物の体験ではなく、一般論しか述べられていない (-15 点)</p> <p>(2) 複数名、または、複数の体験を述べている (-9 点)</p>
<p><u>語数</u></p> <p>(a) 40 語未満：-30 点</p> <p>(b) 41～50 語：-15 点</p>
<p><u>その他</u></p> <p>語句レベルで不適切な箇所は、程度に応じて 1 カ所につき -1, -2 点。節レベルの誤りは -4 点。</p>

大問Ⅳ

●語句レベルで不適切な箇所は、程度に応じて1カ所につき－1，－2点。

(A) (25点)

〈問題部分〉何かを学ぶとは、新たな知識を外部から取り入れ、それを自分のものとして消化することだ。新たな学びによって、自分の思考に変化が生じるのだ。従って、一度学んでしまうと、以前の自分に戻ることはできない。

区分	配点
① 何かを学ぶとは ...ことだ。	3点
② 新たな知識を外部から取り入れ	4点
③ それを自分のものとして消化することだ。	4点
④ 新たな学びによって、自分の思考に変化が生じるのだ。	5点
⑤ 従って	1点
⑥ 一度学んでしまうと	3点
⑦ 以前の自分に戻ることはできない。	5点

(B)イ(25点)

〈問題部分〉確かにこの格言で説明できる事例もあるが、発明の多くは、人間の好奇心の産物であり、何か特定のものを作り出そうとして生み出されたわけではない。実際、発明をどのように応用するかは、それがなされた後に考え出されることが多い。しかも、発明の中には、当初とは全く別の目的で使用されるようになったものもある。

区分	配点
① 確かにこの格言で説明できる事例もあるが	4点
② 発明の多くは、人間の好奇心の産物であり、	4点
③ 何か特定のものを作り出そうとして生み出されたわけではない	4点
④ 実際、発明をどのように応用するかは、それがなされた後に考え出されることが多い。	8点
⑤ しかも、発明の中には、当初とは全く別の目的で使用されるようになったものもある。	5点

(B)ロ(25点)

〈問題部分〉 世の中がグローバル化すればするほど、国ごとの差異は、独自性として一層明確になるのです。それゆえに、日本という軸足をはっきりと認識しておくことは、個人にとっても企業にとっても大きな意味を持つのです。

区分	配点
① 世の中がグローバル化すればするほど、国ごとの差異は、独自性として一層明確になるのです	12点
② それゆえに	1点
③ 日本という軸足をはっきりと認識しておくことは、	6点
④ 個人にとっても企業にとっても大きな意味を持つのです。	6点